

短大特任教員教育研究業績書

平成 30年 5月 7日

氏名	ふりがな	所属	職位	性別
久保寺 賀子	くぼでら よしこ	保育学科 通信教育課程	教授・准教授・講師・ 助教	男 女

担当科目名

造形表現Ⅰ、造形表現Ⅱ

学 歴

和暦(西暦)年 月	事 項	学位
平成 21 (2009) 年 3 月	武蔵野美術大学造形学部芸術文化学科 卒業	学士(造形)
平成 22 (2010) 年 4 月	横浜国立大学大学院教育学研究科芸術教育専攻美術教育分野 入学	
平成 24 (2012) 年 9 月	横浜国立大学大学院教育学研究科芸術教育専攻美術教育分野 修了	修士(教育学)

教育歴・職歴

名 称	期 間	教育内容又は業務内容
公益財団法人通信文化協会 郵政資料館	平成 23 年 7 月 ～平成 24 年 3 月	鑑賞教育普及活動としての造形ワークショップの支援
公益財団法人横浜市観光コ ンベンションビューロー	平成 24 年 7 月～11 月	横浜文化観光局「Dance Dance Dance@YOKOHAMA 2012」 の運営に加担
公益財団法人横浜市芸術文 化振興財団	平成 24 年 12 月 ～平成 27 年 3 月	横浜みなとみらいホール内、横浜市教育委員会主催音楽鑑賞教室「心の教 育、ふれあいコンサート」(横浜市内公立小学校 5 年生対象)等の運営に 加担
株式会社 JTB コミュニケ ーションズ	平成 27 年 4 月～6 月	文化庁「文化芸術による子供の育成事業」の一環、「巡回公演事 業」の運営に加担
学校法人篠原学園 篠原保育医療情報専門学校	平成 28 年 4 月 ～平成 29 年 3 月	専任講師
学校法人弘徳学園 豊岡短期大学	平成 28 年 12 月 ～平成 30 年 3 月	非常勤講師 造形表現Ⅱ
学校法人三幸学園 小田原短期大学	平成 29 年 4 月～現在	保育学科通信教育課程
株式会社市進	平成 29 年 7 月～現在	桐杏学園 幼児絵画造形指導 非常勤講師

所 属 学 会 等

名 称	活動期間	活動内容(役職等の活動を含む)
日本臨床美術協会	平成 22 年 10 月 ～平成 29 年 3 月	協会を主に展開される臨床美術の技法を用いた造形活動(ワーク ショップ)に参加。
日本子ども学会	平成 29 年 4 月～現在	会員
公益社団法人日本美術教育 連合	平成 29 年 9 月～現在	会員

社 会 活 動 等

名 称	活動期間	活 動 内 容
特記事項なし		

担当教科目に関する資格・免許等

名 称	取得年月	取 得 機 関
特記事項なし	年 月	
	年 月	

研究実績に関する事項

代表的な著書、論 文等の名称	単 著 共 著の別	発行又は発 表の年月	発行所、発表雑誌又 は発表学会等の名称	概 要

<p>(著書) 書籍「教育・保育実習に役立つ 部分実習指導案集」</p>	<p>共著</p>	<p>平成31年2月</p>	<p>萌文書林</p>	<p>部分実習指導案「0-2歳児用」。 生活用品廃材ペットボトルの“キャップ”を利用し、「あおむし」に見立てた制作の指導案。身の回りの日常素材を用いることで、親しみのある造形活動となり、色彩豊かな表現が可能。この活動の目的の一つに、日常行為でもある紐を“通す”を造形で手段に用い、遊びながら経験することと置いている。 第三章「造形遊びの部分実習指導案」P2-5、宮川萬寿美編著 久保寺賀子著</p> <p>部分実習指導案「3-5歳児用」 工芸を幼児造形に取り入れることを基底とし、織物の技法「編む、織る、組む」を体験することを目的とした指導案。代表的な市松模様を色紙で制作し、制作過程にて色の組み合わせを楽しみ、そして、つくったものを日常的に使えることをねらいとしている。 第三章「造形遊びの部分実習指導案」P16-21、宮川萬寿美編著 久保寺賀子著</p>
<p>(学術論文) 「美術館教育普及活動デザインの方法論における一考察～世田谷美術館「鑑賞リーダー制」を一例として～」</p> <p>「保育内容「表現」の在り方に関する一考察～“むすんでひらいて”にまなぶ～」</p> <p>幼児の鑑賞教育に関する一考察～保育者による造形教材とこども～</p>	<p>単著</p> <p>単著</p> <p>単著</p>	<p>平成24年9月</p> <p>平成30年3月</p> <p>平成31年3月</p>	<p>横浜国立大学大学院</p> <p>学校法人篠原学園 篠原保育医療情報専門学校研究紀要</p> <p>小田原短期大学研究紀要</p>	<p>本研究は、世田谷美術館の鑑賞教育活動である鑑賞リーダー制度を、ボランティア領域における創発現象とみなし、創発が自然界の生態系における生命システムの生成過程にみられる現象であることから、これをデザインの方法論とし、前述の鑑賞リーダー制に応用したものである。創発デザインによる鑑賞教育方法は、美術館とボランティア、そして参観者(学生)との人間関係の相乗効果によって良好な制度を保持することから成る新しい鑑賞教育方法といえる。</p> <p>書籍「むすんでひらいて考—ルソーの夢」(海老沢敏著)にて、J. J. ルソーが作曲したとされる楽曲「むすんでひらいて」が、日本のこどもの代表歌として普及した過程から『ルソー的芸術の在り方』とする論説を基に、保育で展開する芸術教育の意味を考察。保育者とこどもの相互関係に愛着心理の理論を背景に置き、両者間で変容が加えられていく“むすんでひらいて”の過程とを照合させ、芸術の在り方を提案。 pp75-87</p> <p>幼稚園や保育園に飾られている幼稚園教諭と保育士が制作する壁面装飾を保育教材の主に置き、幼児にとっては鑑賞教育の対象となることから考察。壁面装飾を幼児教育の造形鑑賞として位置づけ、特徴的な造形表現がもたらす文化的価値を見出す。表現の分析にアミニズムとトーテム説を用い、日本の文化(美術)と照合。造形教育と文化の両側面から保育者による保育造形教材が幼児にもたらす意味を確立し、その現状から今後の課題点(保育者側の創造性や表現性)を明らかにした。Pp227-236</p>
<p>(その他) Dance Dance Dance @ YOKOHAMA 2012</p>	<p>単著</p>	<p>平成24年11月</p>	<p>公益財団法人横浜市観光コンベンションビューロー</p>	<p>Dance Dance Dance @ YOKOHAMA 2012の内容および実施報告</p>
<p>その他 (表彰等)</p>				